

株主通信

Vol. **15** | 2010年3月期 決算のご報告
2009年4月1日～2010年3月31日

New Innovative Wave

「これからの医療」のために。

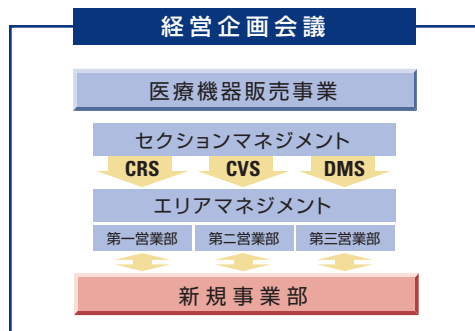


株式会社 ウィン・インターナショナル

JASDAQ 証券コード: 2744

私たちは、 新しい医療周辺 ビジネスの構築を 目指す会社です。

私たちウイン・インターナショナルの存在意義は、
医療分野において優れた商品及びサービスを、
従来にない方法で安定的に提供することです。
そして、医療分野の発展に継続的に寄与し、
国民の健康及び医療に貢献していきます。



経営企画会議を情報共有の基点として、当社の主力事業である消耗品関連の医療機器販売事業は、担当エリアの特性に合わせて機動的な営業を行うためのエリアマネジメント(第一営業部から第三営業部)と専門分野における営業活動を柔軟に行うためのセクションマネジメント(心臓律動関連のCRS、心臓外科関連のCVS、糖尿病関連のDMS)で推進しております。新規事業部は新規顧客開拓のツール開発、大型医療機器販売を行っており、各営業部との連携を図って案件獲得を目指しております。

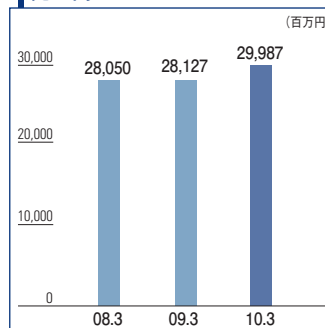
● 財務ハイライト

(百万円)

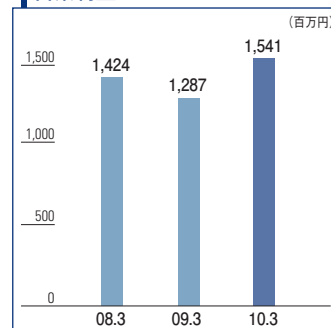
	2008/3	2009/3	2010/3
売上高	28,050	28,127	29,987
営業利益	1,424	1,287	1,541
経常利益	1,426	1,293	1,548
当期純利益	940	820	902
総資産	13,395	13,641	15,091
純資産	5,068	5,433	6,161
自己資本比率(%)	37.8	39.8	40.8
1株当たり当期純利益(円)	73.99※	65.20※	73.34
1株当たり期末配当金(円)	18.5※	16.4※	26.0

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。
2008/3、2009/3の「1株当たり当期純利益」「1株当たり期末配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。

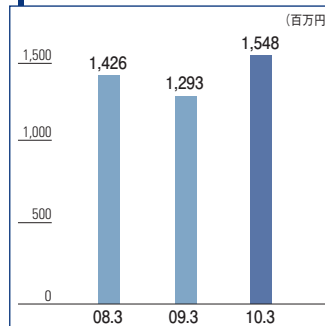
売上高



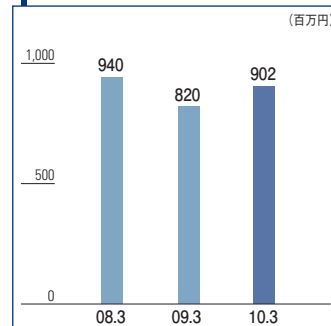
営業利益



経常利益



当期純利益





目標を大きく上回る好業績となった第27期。 第28期は業界再編を視野に入れ、収益性をさらに強化。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに第27期(2010年3月期)株主通信をお届けいたします。

第27期は、依然として経済が大きく落ち込む中、医療費抑制政策や医療保険制度の財政難等を受けて各医療機関においても投資マインドが冷え込み、当社にとっても非常に厳しい経営環境でのスタートとなりました。

しかし、事業活動に着実に取り組み、また業務の効率化をはじめとする企業努力を重ねた結果、おかげさまで、第27期は目標を達成し、売上高299億87百万円、営業利益は15億41百万円、当期純利益は9億2百万円の好業績となりました。

第28期もこれまで以上に真摯に事業活動を推進し、さらなる成長を目指す所存です。株主の皆様にはなお一層のご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社ウイン・インターナショナル 代表取締役社長 秋沢 英海

まず第27期の市場環境及び業績について お聞かせください。

第27期は景気回復の兆しが見えにくい中でスタートしましたが、償還価格改定の2年目で当社の市場動向分析と対応策が十分に機能したこと、当社の主力である循環器領域でDES(薬剤溶出ステント)やCRM(心臓律動管理)関連の新商品が発売されて販売が拡大したこと、グループ病院におけるシェアが拡大したこと、新たなグループ病院獲得へのアプローチも順調に進んでいること等が牽引力となり、さらにコスト削減等の企業努力が功を奏して、当初の予想を上回る業績を達成することができました。

心臓外科・循環器系以外の診療他科への展開で、 新たな動きはありますか。

脳外科、消化器内科等で、体の部位別の低侵襲治療用機器の販売が着実に拡大しております。

そのほか第27期は、新たに糖尿病関連の低侵襲治療用機器の販売が順調な滑り出しを見せています。取扱い機器は2種類で、ひとつは、血糖値変動の総合的評価を可能とした国内初の連続グルコースモニタシステムです。これは自己血糖測定が困難な就寝時のデータも自動的にモニタする機器です。もうひとつは、この測定したデータをもとに、インスリン注入を行う持続注入ポンプです。

どちらも顧客医療機関の注目度が高く、糖尿病患者数が年々増加していることも加味すれば、安定継続的に展開できる分野です。

全国展開体制の整備について、進捗状況はいかがですか。

第27期は、顧客医療機関との取引量が著しく増加した静岡・千葉の両県に、沼津出張所、松戸出張所を開設しました。

当社では全国展開体制の整備を引き続き進めており、今後は中京地域、中国地域、北海道・東北地域、関東では茨城・群馬・栃木の3県といった地域の拠点づくりを推進し、営業力の増強に一層注力いたします。

好調の第27期を終え、さらに業績向上に向けての課題があるとすればどのような点でしょうか。

課題としては、人材確保と人材教育がつねに挙げられます。当社では優れた人材を確保すべく、中途採用を引き続き行うとともに、第28期からは新卒者採用に力を入れております。

また教育プログラムを見直し、第28期から職階別の新教育プログラムを実施して、医療関連の専門知識だけでなく、仕事に対する考え方、判断基準を身に付けさせることにも力点を置きます。仕事として正しいか、次にお客様のためになるか、3番目に当社の利益を生み出せるか、という判断の優先順位を理解し、ただ利益追求に走るのではなく、この判断基準を守って仕事をした結果で収益を積み上げていく…、そんな人材をじっくりと育てようと考えています。

第28期の目標と注力分野についてお聞かせください。

第28期は、2年に1度の診療報酬改定が実施され、当社の事業活動にも若干の影響が予測されます。しかし、当下期に獲得した3つの主力病院が第28期の売上に貢献してきます。またメーカー間

の価格競争が激化する中で、当社は仕入価格交渉を優位に進められる状況にあり、価格メリットを顧客に還元しつつ当社も十分に利益を確保できると見込んでいます。

従って第28期は、好調だった第27期と同水準の売上高及び営業利益を目標とし、主力以外では糖尿病関連製品の販売に注力いたします。また新規事業部と営業部の連携による新規顧客開拓・獲得活動を強力に推進いたします。



今後の中長期的な見通しとその対応はどのようになりますか。

いま業界では2012年の診療報酬改定を睨んだ動きが活発化しています。というのも、この改定では償還価格の大幅な引き下げが予想されているからです。そのため、2012年までの2年間で業界再編の様相となり、優れたビジネスモデルと強固な収益体質を持つ企業が勝ち残っていくと考えています。

当社はこの波をいち早く読み、販売量の伸長と事業規模の拡大を追求しながら、業界屈指の高水準な収益性を維持すべく、事業活動を進めてまいります。

最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

第27期は、配当金につきまして配当性向35%以上を基本方針とする決定を行いました。当社では今後も必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様へ適正な利益還元を行うことで、皆様のご支援に最大限お応えしてまいります。株主の皆様には、第28期も、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 事業環境

当社の属する医療業界は、医療費抑制を目的とする近年の医療制度改革の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機関においては、財政悪化からコスト削減に踏み切らざるを得ない環境になっており、納入業者に対する値下げ圧力が高まる傾向にある一方、比較的大規模な医療機関において、分院開設や設備の更新による機能強化により、

症例数のさらなる増加を目指すケースも見られる状況となっております。当社をはじめとする医療機器販売業者は、こうした医療機関等の置かれた環境を的確に把握し、ニーズに即した質の高いサービスを提供することが求められております。

このような状況のもと、当社は低侵襲治療と心臓治療というコアビジネスを軸に、業容拡大に努めました。

98.1%

消耗品関連

新規顧客の獲得を目指すとともに、既存顧客に対しても患者数の増加策を提案し、また従来取引のなかった診療科目にも積極的に営業を行うことで、販売数量を増加させることに注力いたしました。

その結果、主力の薬剤溶出ステント(DES)やPTCAバルーンカテーテル等の心臓カテーテル類の販売数量が伸びたほか、ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)等のCRM(心臓律動管理)関連商品の販売が、特に好調に推移いたしました。また、下肢や頭頸部、腹部等、心臓以外の低侵襲治療で用いられるPTAバルーンカテーテルや、塞栓コイル等の商品についても、販売数量が増加いたしました。

また、商品の一括購入によるコストダウンや、目標販売数量等を設定した上でのレポートプログラムを積極的に導入することで利益率の維持、向上に努めました。

その結果、消耗品関連の売上高は29,423百万円(前期比7.8%増加)、売上総利益は3,850百万円(前期比10.0%増加)となりました。

1.9%

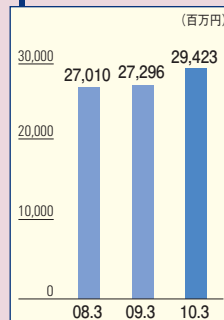
その他

消耗品関連の営業部門との連携を強化し、医療設備建築や大型医療機器販売案件に関する情報を迅速かつ正確に把握することで、消耗品ビジネスと一体になった営業活動に注力いたしました。

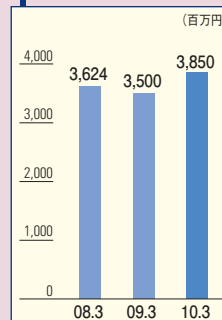
しかしながら、前期にあったような大型医療機器の販売案件が減少したため、その他の売上高は563百万円(前期比32.1%減少)、売上総利益は92百万円(前期比36.0%減少)となりました。

消耗品関連

売上高

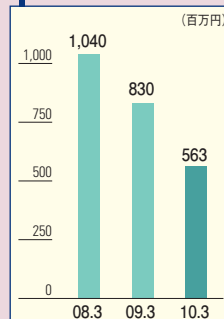


売上総利益

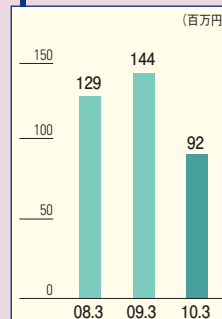


その他

売上高



売上総利益



貸借対照表(要旨)

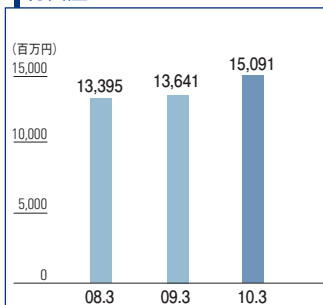
(単位：千円)

期別	当期末 2010年3月31日現在	前期末 2009年3月31日現在	増減 (△印は減)
資産の部			
流動資産	13,380,441	11,973,465	1,406,976
現金及び預金	3,933,410	2,623,661	
受取手形	1,179,176	1,276,579	
売掛金	7,098,234	6,865,686	
商品	916,548	996,782	
繰延税金資産	82,888	77,924	
その他	170,521	133,591	
貸倒引当金	△340	△760	
固定資産	1,710,874	1,668,201	42,672
(有形固定資産)	1,104,809	1,119,478	
建物	498,180	492,703	
土地	742,444	742,444	
減価償却累計額	△368,168	△327,546	
その他	232,353	211,877	
(無形固定資産)	128,584	177,333	
(投資その他の資産)	477,480	371,390	
投資有価証券	317,967	206,206	
出資金	150	150	
敷金及び保証金	77,027	71,325	
保険積立金	48,733	44,841	
繰延税金資産	32,808	47,874	
その他	794	1,072	
貸倒引当金	—	△80	
資産合計	15,091,316	13,641,667	1,449,649

(単位：千円)

期別	当期末 2010年3月31日現在	前期末 2009年3月31日現在	増減 (△印は減)
負債の部			
流動負債	8,660,492	7,866,616	793,875
支払手形	2,408,874	2,498,741	
買掛金	5,540,906	4,741,365	
1年以内返済予定の長期借入金	79,200	79,200	
未払法人税等	377,564	357,191	
賞与引当金	100,679	93,869	
その他	153,267	96,249	
固定負債	269,249	341,335	△72,086
長期借入金	113,600	192,800	
退職給付引当金	154,649	148,535	
その他	1,000	—	
負債合計	8,929,741	8,207,952	721,789
純資産の部			
株主資本	6,110,199	5,409,728	
資本金	330,625	330,625	
資本剰余金	196,875	196,875	
資本準備金	196,875	196,875	
利益剰余金	5,582,749	4,882,228	
利益準備金	17,500	17,500	
その他利益剰余金	5,565,249	4,864,728	
自己株式	△50	—	
評価・換算差額等	51,374	23,986	
純資産合計	6,161,574	5,433,715	727,859
負債純資産合計	15,091,316	13,641,667	1,449,649

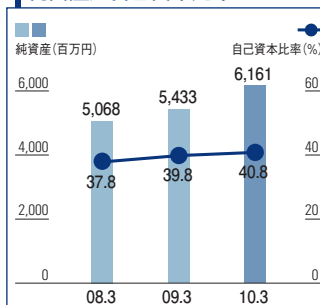
総資産



Point

総資産は、前期末と比較して1,449百万円増加して、15,091百万円となりました。これは、支払サイトが長い取引先からの仕入が増加したことに伴い資金繰りが改善された結果、現金及び預金が1,309百万円増加したことや、売上高の増加に伴って売掛金が232百万円増加したこと等によるものであります。

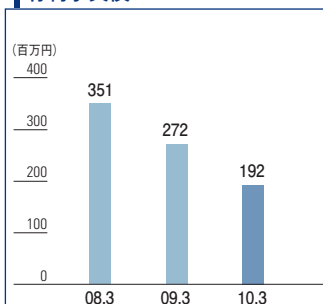
純資産／自己資本比率



Point

純資産は、前期末と比較して727百万円増加して、6,161百万円となりました。これは、当期純利益により902百万円増加する一方、前期の配当金の支払により201百万円減少したこと等によるものであります。

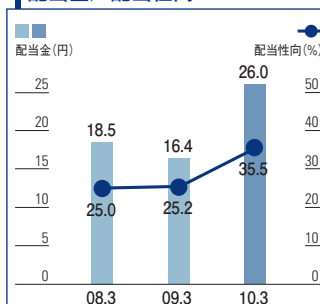
有利子負債



Point

前期に引き続き、有利子負債の約定返済を進めた結果、期末借入金は79百万円減少しております。

配当金／配当性向



Point

将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対して適正な利益還元を行うため、配当性向を35%以上とすることを基本方針としております。上記方針のもと、当期(2010年3月期)の期末配当(年間)につきましては、1株当たり26円(配当性向35.5%)の配当を実施しております。

※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。
08.3、09.3の「配当金」の数値はさかのぼって算出したものです。

株主資本等変動計算書(要旨) 当期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(単位:千円)

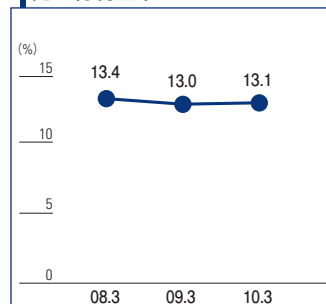
	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末(2009年3月31日)残高	330,625	196,875	4,882,228	—	5,409,728	23,986	5,433,715
当期中の変動額							
剰余金の配当			△201,775		△201,775		△201,775
当期純利益			902,297		902,297		902,297
自己株式の取得				△50	△50		△50
自己株式の処分				—	—		—
自己株式の消却				—	—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						27,388	27,388
当期中の変動額合計	—	—	700,521	△50	700,471	27,388	727,859
当期末(2010年3月31日)残高	330,625	196,875	5,582,749	△50	6,110,199	51,374	6,161,574

損益計算書(要旨)

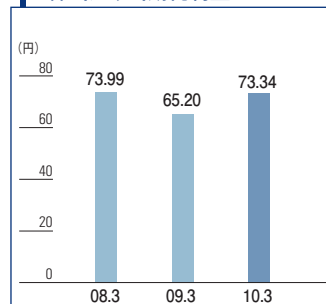
(単位：千円)

期別	当期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	増減 (△印は減)
売上高	29,987,165	28,127,098	1,860,067
売上原価	26,044,282	24,482,151	
売上総利益	3,942,883	3,644,946	
販売費及び一般管理費	2,401,784	2,357,132	
営業利益	1,541,098	1,287,814	253,284
営業外収益	12,127	12,959	
営業外費用	4,607	7,212	
経常利益	1,548,618	1,293,561	255,057
特別利益	—	116,020	
特別損失	—	1,993	
税引前当期純利益	1,548,618	1,407,588	141,030
法人税、住民税及び事業税	655,008	571,956	
法人税等調整額	△8,687	14,677	
当期純利益	902,297	820,954	81,343

売上総利益率



1株当たり当期純利益



※当社は、2009年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式を分割しております。08.3、09.3の「1株当たり当期純利益」の数値はさかのぼって算出したものです。

Point

会社全体の売上高は29,987百万円(前期比6.6%増加)、経常利益は1,548百万円(前期比19.7%増加)、当期純利益は902百万円(前期比9.9%増加)となりました。なお、売上高、経常利益のいずれも、過去最高の結果となっております。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

期別	当期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで	前期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	増減 (△印は減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,707,479	866,216	841,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,703	76,296	△193,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,026	△441,478	160,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増加額	1,309,749	501,034	808,714
現金及び現金同等物の期首残高	2,623,661	2,122,626	501,034
現金及び現金同等物の期末残高	3,933,410	2,623,661	1,309,749

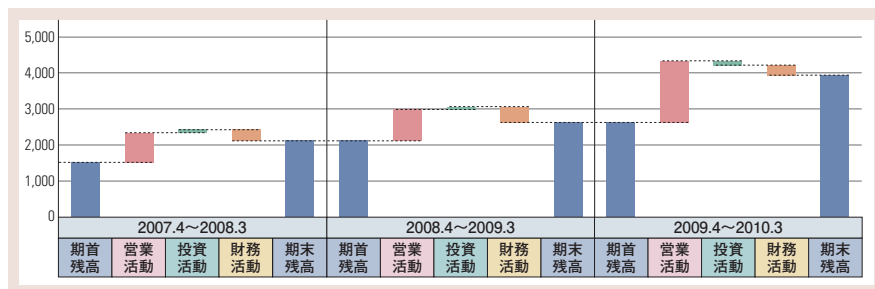
Point

営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動において得られた収入が2,351百万円(前期は1,595百万円の収入)ある一方、法人税等を647百万円支払ったこと(前期は731百万円の支払)等により、1,707百万円の収入(前期は866百万円の収入)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得により65百万円の支出(前期は77百万円の支出)があったこと等により、116百万円の支出(前期は76百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金を201百万円支払ったこと(前期は233百万円の支払)や長期借入金金を79百万円返済したこと(前期は79百万円の返済)等により、281百万円の支出(前期は441百万円の支出)となりました。

グラフで見るキャッシュ・フローの推移

(単位:百万円)



IRサイトのご案内 当社のさらに詳しい情報についてはHPをご覧ください。

<http://www.win-int.co.jp/>

■ お問い合わせ先 総務部 / 03-5688-0878

ウイン・インターナショナルのホームページはIR・財務情報に加え、皆様に当社の事業内容をより深くご理解いただけるよう最新ニュースや事業案内を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



■ 会社概要 (2010年3月31日現在)

社 名 株式会社ウイン・インターナショナル
 英文社名 WIN INTERNATIONAL CO., LTD.
 事業内容 医療機器販売事業
 本社 東京都台東区台東四丁目24番8号
 主な拠点 東京、千葉、埼玉、神奈川、福島、大阪、香川、福岡
 設立年月日 1983年6月1日
 資本金 330,625千円
 従業員数 232名

■ 株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数 47,000,000株
 発行済株式の総数 12,303,400株
 大株主(上位11名)

株主名	持株数	持株比率
	(株)	(%)
秋沢 英海	4,105,300	33.37
グリーンホスピタルサプライ株式会社	800,000	6.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000	3.25
古川 國久	400,000	3.25
ピーイーエフオーフィデリティロープライス ストックファンド常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	384,500	3.13
メロンバンクエヌエートリーテイクライアント オムニス常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行	350,000	2.84
日本生命保険相互会社	250,000	2.03
三田上 浩美	202,400	1.65
第一生命保険相互会社	200,000	1.63
鴫田 金光	200,000	1.63
伊藤 成幸	200,000	1.63

(注) 持株比率は自己株式(101株)を控除して計算しております。

株主数 3,049名
 上場金融商品取引所 大阪証券取引所(ジャスダック市場)(証券コード:2744)
 IRのお問い合わせ先 総務部 / TEL 03-5688-0878
 URL <http://www.win-int.co.jp/>

■ 取締役、監査役、会計監査人 (2010年6月28日現在)

代表取締役	秋沢 英海
取締役	三田上 浩美
取締役	村田 裕可
取締役	杉原 庸介
監査役	卜部 容志孝
監査役	神田 安積
監査役	菊地 康夫
補欠監査役	大友 良浩
会計監査人	あずさ監査法人

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日

その他必要があるときは、
 あらかじめ公告いたします。

公告方法 電子公告
 やむを得ない事由により
 電子公告によることができない場合は
 日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 (特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081

連絡先・送付先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話0120-232-711(フリーダイヤル)

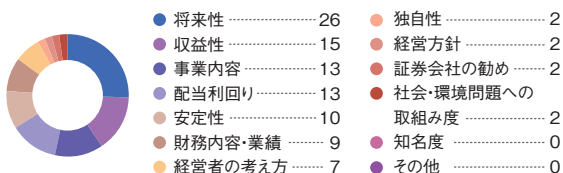
※株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お
 手続につきましては、原則として口座を開設されている口座管理
 機関(証券会社等)で承ることとなっております。

株主通信 Vol.14の アンケート結果

アンケート調査に多くの回答と
温かいメッセージをいただき、
ありがとうございました。
アンケートの結果を下記に
掲載させていただきますので
ご参照ください。

あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。

(複数回答可/%)



あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

(%)



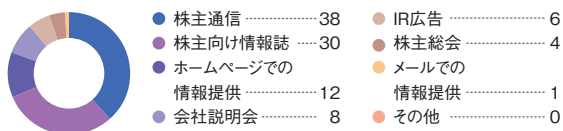
あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。

(複数回答可/%)



あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。

(複数回答可/%)



今後も株主の皆様からのご意見には真摯に耳を傾け、
当社ビジネスを一層発展させるための糧とさせていただきます。

株主の皆様へのアンケートのお願い

当社では、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、
アンケートを実施させていただいております。

なお、従来のハガキによるご回答に加えてインターネットからも
ご回答いただけます。

お手数ではございますが、ご協力の程、よろしく願いいたします。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

該当する項目の番号に○を付けてください。
特に指定のないもの以外は「1つだけ」お選びください。

問1 あなたが投資先を検討する際、よく利用する情報源をお知らせください。(3つまで)

- ①新聞 ②会社四季報・日経会社情報 ③経済誌・投資情報誌 ④アナリストレポート
⑤証券会社の営業員 ⑥一般株式情報サイトやメールマガジン ⑦企業のホームページ
⑧会社説明会 ⑨その他

問2 あなたは当社の株式を購入する際、社名をどこでお知りになりましたか。

- ①TV・新聞・雑誌など ②インターネット ③会社四季報・日経会社情報 ④アナリストレポート
⑤証券会社の紹介 ⑥知人の紹介 ⑦以前から知っていた ⑧その他

問3 あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫証券会社の勧め ⑬その他

問4 あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

- ①買い増し ②長期保有 ③売却 ④未定

問5 あなたが当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。
(3つまで)

- ①将来性 ②収益性 ③安定性 ④独自性 ⑤知名度 ⑥経営者の考え方 ⑦経営方針
⑧事業内容 ⑨財務内容・業績 ⑩社会・環境問題への取組み度 ⑪配当利回り
⑫株主優待 ⑬その他

問6 あなたは当社のIR活動に満足していますか。

- ①満足している ②普通 ③不満である

問7 あなたが当社のIR活動について、特に充実を希望することは何ですか。(いくつでも)

- ①ホームページでの情報提供 ②メールでの情報提供 ③会社説明会 ④株主総会
⑤株主通信 ⑥株主向け情報誌 ⑦IR広告 ⑧その他

問8 当社の株主通信について、情報量はいかがですか。

- ①多すぎる ②ちょうど良い ③少なすぎる

問9 当社の株主通信について、わかりやすさはいかがですか。

- ①わかりやすい ②普通 ③わかりにくい

問10 当社の株主通信について、読みやすさはいかがですか。

- ①読みやすい ②普通 ③読みにくい

その他ご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

アンケートはインターネットから ご回答いただけます。

インターネットをご利用いただけない株主様は、
こちらのハガキをご利用ください。

郵便はがき

1 1 0 8 7 9 0

220

料金受取人払郵便

上野支店承認

5022

差出有効期間
平成22年9月
30日まで
切手はいりません

東京都台東区台東四丁目24番8号

株式会社ウイン・インターナショナル
総務部 行



キ
リ
ト
リ
線

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下 <input type="checkbox"/> 30~39歳 <input type="checkbox"/> 40~49歳 <input type="checkbox"/> 50~59歳 <input type="checkbox"/> 60~69歳 <input type="checkbox"/> 70歳以上
お住まいの都道府県	
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員・非営利団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト・フリーター <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職・定年退職 <input type="checkbox"/> その他
株式投資歴	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1~2年未満 <input type="checkbox"/> 2~5年未満 <input type="checkbox"/> 5~10年未満 <input type="checkbox"/> 10年以上

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2744

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト
内にある検索窓に、いいかぶと
4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本誌が
お手元に到着してから約2ヶ月
間です。

インターネットでご回答いただいた方の
中から抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社 ウイン・インターナショナル

〒110-8558 東京都台東区台東四丁目24番8号

TEL.03-5688-0878

<http://www.win-int.co.jp/>



本誌は、環境に優しい大豆油インキを
使用して印刷しています。